

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 大空-そら- (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年12月5日		～ 2026年1月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年12月5日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が楽しく学べる機会	<ul style="list-style-type: none"> 季節のイベントや活動に合わせて、その由来や歴史を知る機会を作っている。 感染症、避難訓練、お買い物(お金の計算)、バス乗車等の活動では、事前に工程のアナウンスをしたり、クイズ形式で学ぶ機会を作ることで、より安心して活動に取り組めるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住む町、日野町をより知る機会づくり(歴史、建物、公共交通機関) 買い物や調理等の経験を重ねる機会づくり
2	保護者と職員の関係性	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方にお迎えなど送迎に來たいいただくことで、その日の児童の様子やご家庭での様子をお互いに共有する時間を持つことができている。 自主通所をされている児童のご家族とは、連絡帳やお電話、定期的な面談の中で共有をおこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方のニーズを元に、活動内容を組み立てていく。 児童の活動の様子を写真やスライドを通して、より知っていただく機会を作る。
3	環境設備	<ul style="list-style-type: none"> 2025年に改修工事を行い、フラットでクッション性のあるフロアとなり、重心児や医療的ケアを必要とする児童にとっても移動がしやすい環境となった。 天井に多数のコンセントを配置し、取り組みに合わせて、医療的ケア児も集団の中で活動参加をしてもらいやすくなった。 スヌーズレンの設備がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童に合わせて、より過ごしやすい環境になるよう、配置を検討しながら有効に活用していく。 スヌーズレンの活動内容の充実。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童との交流や地域行事に関わる機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 法人のまつり出店による地域住民との関わりや、同法人の放課後等デイサービスを利用する児童と交流する機会は少し作れたが、その他の部分で取り組むことが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子供達が集う活動やイベントについて調べる。 地域で行われているイベントに参加をし交流の機会を作る。
2	児童や支援方法についての共有(長期休み)	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇時は、開所時間中、児童が常に利用している為、職員全員で打ち合わせや共有をする時間を確保することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休み前の事務局会議にて、児童や支援方法について、また1日の日課や注意事項等、しっかりと共有しておく。 長期休暇中、必要な共有は書面や、個別に面談室を活用し短時間で共有を行う等、児童支援を優先とし体制が確保される時間帯にておこなう。
3	保護者会のあり方や開催日程 保護者同士の交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 出席人数が減少してきている。 開催曜日や時間帯、内容により出席しにくい状況があると考ええる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会について、どのように感じておられるか、保護者の方に面談やアンケートをとおして聞き取りをおこなう。 法人のまつりへ児童と共に参加いただけるように内容を検討する。